

二層新聞 「座・暖会」

川内地区では、「第一回 小地域ネットワーク」が開催されました。

小地域ネットワークは、住民主体の話し合いの場である事から、日頃の見守り活動を通じて感じている事や、地域の課題等についても意見が交わ



されています。民生委員と健やか支援アドバイザーの連携を図る必要性から「住民支え合いマップ」に意欲を高める方、子どもたちとの交流の場を求め声から「子ども食堂(コミュニティ食堂)」に興味を示される方もいらっしゃいました。今後の展開が期待される川内地区です。

平佐西地区では、今年度三つの「子ども食堂」

「コミュニティ食堂」が立ち上がりました。(コミュニティ食堂)が立ち上がりました。喜入自治会、平佐権現原自治会、三堂自治会で立ち上げた三つの食堂の共通点として、ふれあい・いきいきサロン参加者を中心に運営している事です。

平佐権現原自治会の参加者の平均年齢は、八十歳。メニューは毎回カレーライスです。「細く長く続く居場所になればいいな」という気持ちで運営されています。喜入自治会では、子ども育成会と連携。三堂自治会は、卓球台を購入する等、世代間交流に期待しています。



住民主体の話し合いから、様々な活動につながっています!

平佐東地区では、地区文化祭が開催され、「はんとけん体操」の体験会が行われました。

現在、平佐東地区では、コミュニティ協議会の福祉部サロンと飯母自治会のサロンの二か所では、はんとけん体操が行われています。

今回、地区文化祭で体験会を実施しようと思った理由について福祉部長は、「平佐東地区で、もっとはんとけん体操に取り組む人が増え、健康で長生きできる人が増える事を期待しています」と話されました。



峰山地区では、「コミュニティ食堂 ちよつと」が立ち上がりました。



元々「古民家カフェ ちよつと」を運営されていた方々の新たな取り組みに、地区コミュニティ協議会も協力、地域一体となり開催する事ができました。現在は、近くの自治会のサロン会場としても開放され、益々地域住民の居場所となる事が期待されます。今後は、常設型とし、更にはその場を活用して、学習支援等も取り入れていく予定です。